



本州中央部広域交流圏を形成し、 人や物の大きな流動を創出します

大北地域が高速交通へアクセスできる地域となり、移動の快適性が向上

- 松本から糸魚川までの移動時間が「40分」短縮されます。
- 高速交通ネットワークへの15分、30分アクセス範囲が広がります。
- 交通アクセスの向上は、医療、観光、産業などに大きな影響をもたらします。

■高速交通ネットワークを最大限に活かした交流の拡大を実現



本州中央部広域交流圏の形成

長野県の地理的な優位性を発揮し、北陸・リニア中央の2つの新幹線と高速道路網を基軸とした高速交通ネットワークを最大限に活用する「本州中央部広域交流圏」を形成し、東日本と西日本、太平洋と日本海とを結ぶ大規模な流動の創出を目指しています

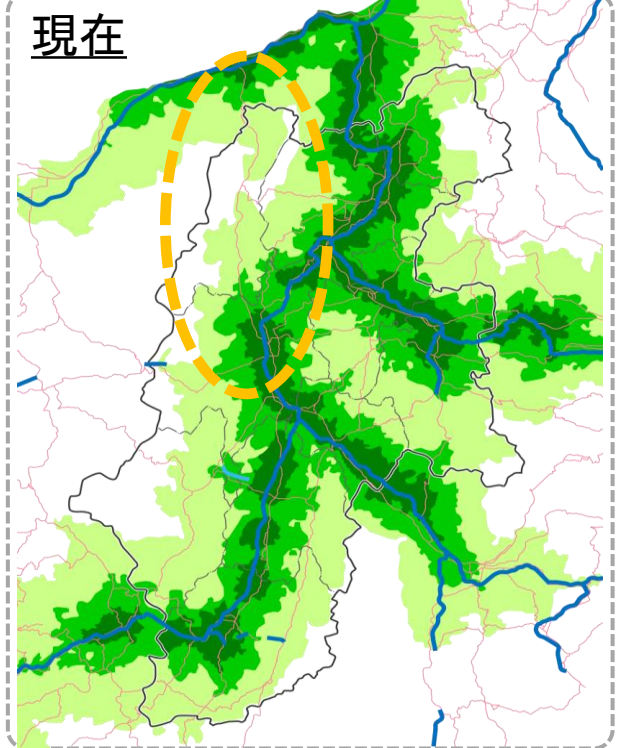
松本糸魚川連絡道路

【松本 IC ~ 糸魚川 IC】

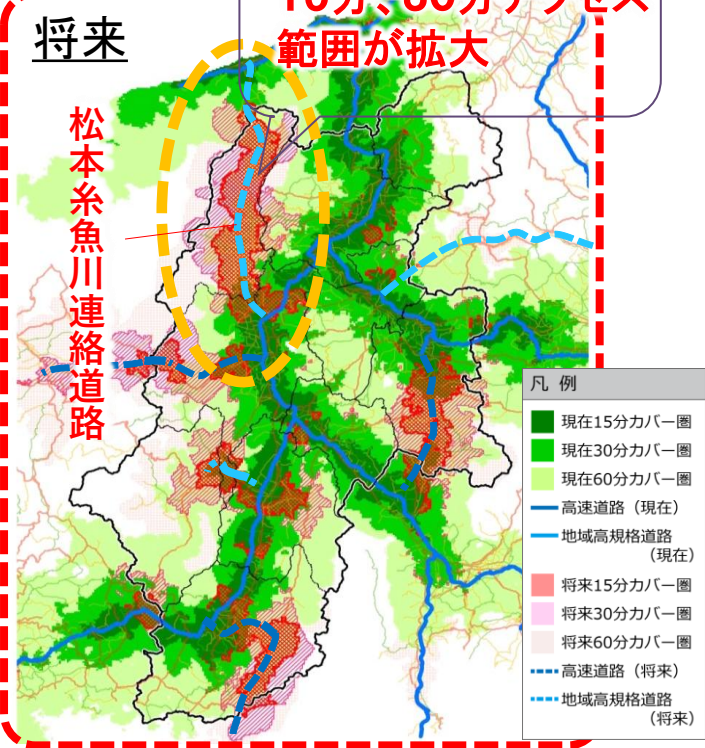
現在(現道利用)	整備後
約2時間20分	→ 約1時間40分

短縮時間
40分

■高速交通ネットワークの空白地域の解消



高速交通ネットワークへの
-15分、30分アクセス範囲が拡大





医療

医療施設への搬送時間が短縮され、 尊い命が救われます

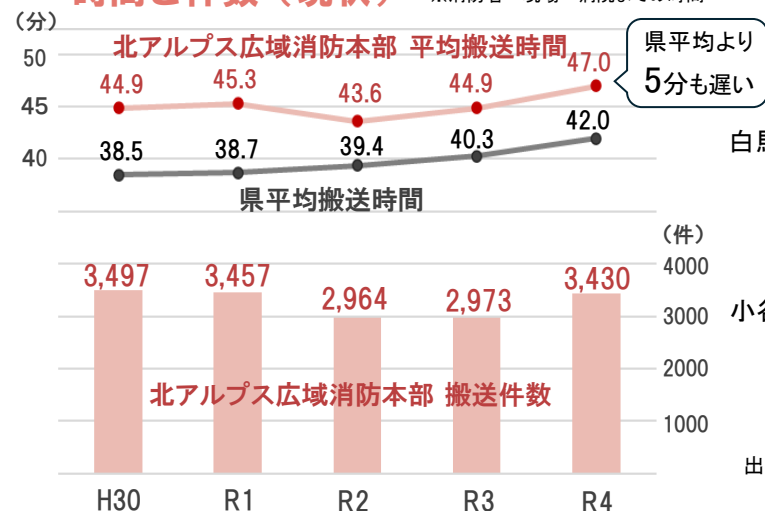
救急車による病院までの搬送時間の短縮により、生存率が向上

- 北アルプス広域消防本部管内の平均搬送時間は県平均より5分も遅くなっています。
- 小谷村から大町総合病院への搬送時間が12分短縮され、生存率が「約2割」向上します。

■北アルプス広域消防本部の救急搬送

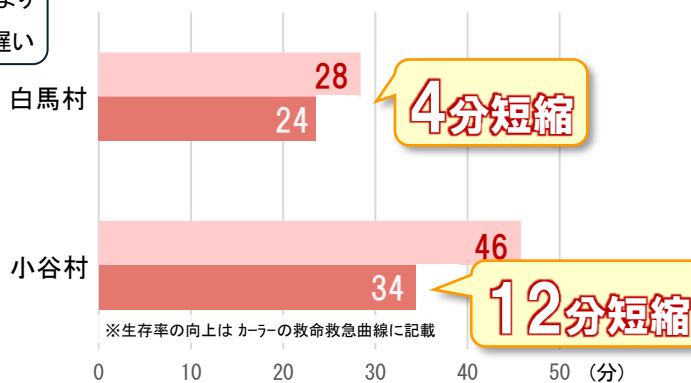
時間と件数（現状）

※消防署→現場→病院までの時間

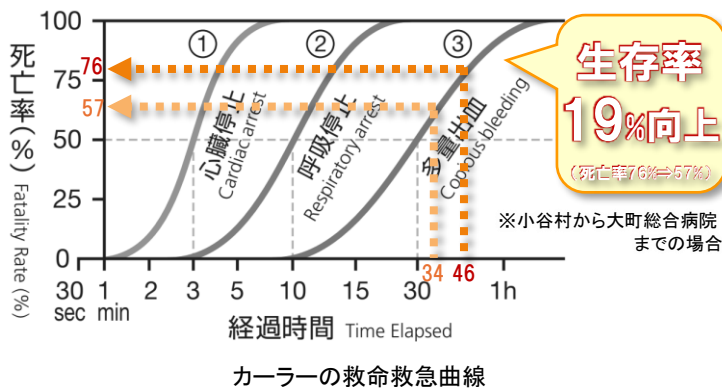
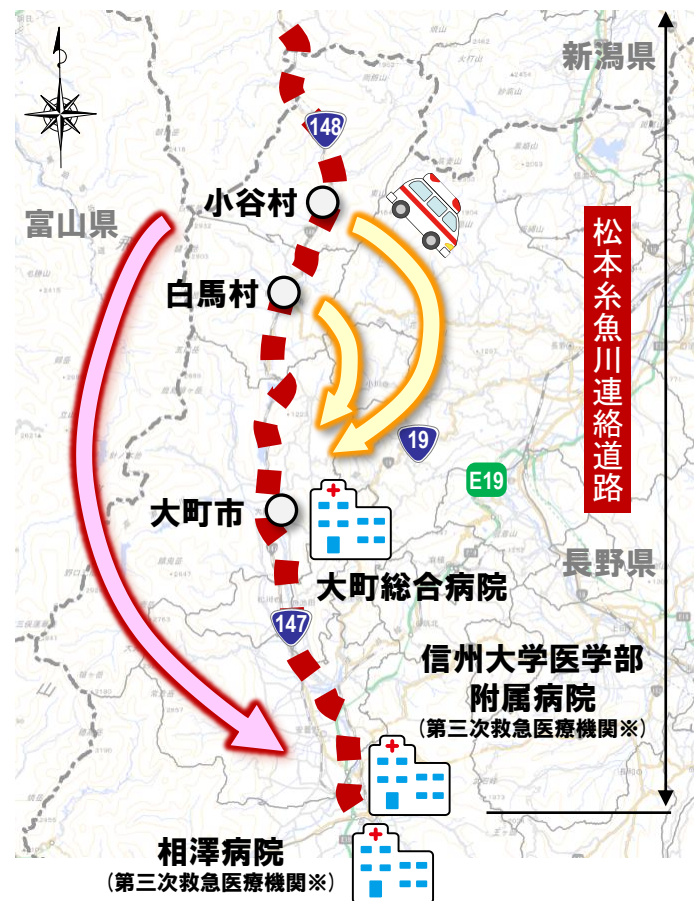


出典: 救急業務における消防本部別実施状況

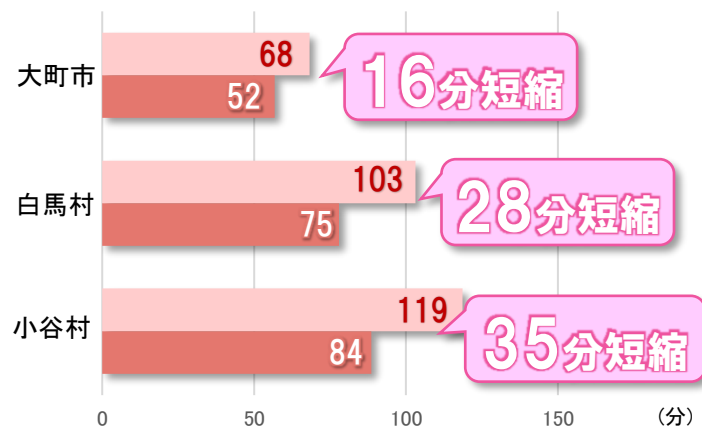
■市立大町総合病院への搬送時間



出典: 整備前の搬送時間は北アルプス広域消防本部からの聞き取りによる
整備後の搬送時間は役場から大町総合病院までの距離にて算出



■信州大学医学部附属病院への搬送時間



出典: 整備前の搬送時間はH27道路交通センサスにて算出
整備後の搬送時間は役所、役場から信大附属病院までの距離にて算出

※脳卒中や急性心筋梗塞など重症患者を治療

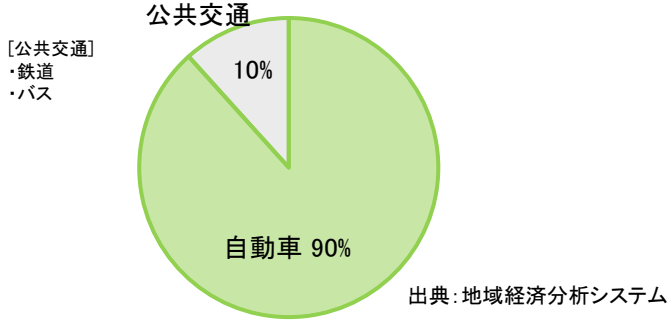


滞在時間が向上し、観光客の満足度が向上します

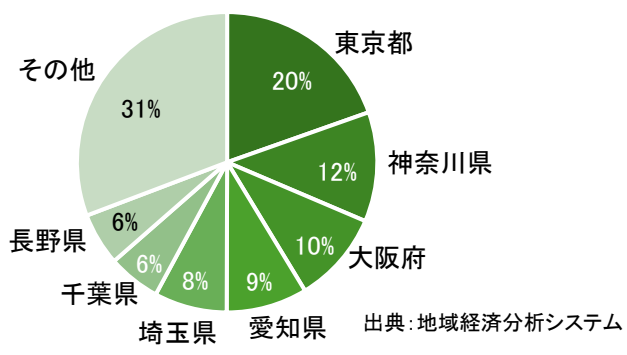
魅力ある大北地域への円滑なアクセスにより、観光客の増加に期待

- 当地域へのアクセス方法は、自動車利用が「9割」を占めます。
- 移動時間の短縮により滞在時間が増え、周遊観光などゆっくり観光が楽しめます。

北アルプス地域観光時の利用交通手段



北アルプス地域観光客の居住地



大町市までの短縮時間

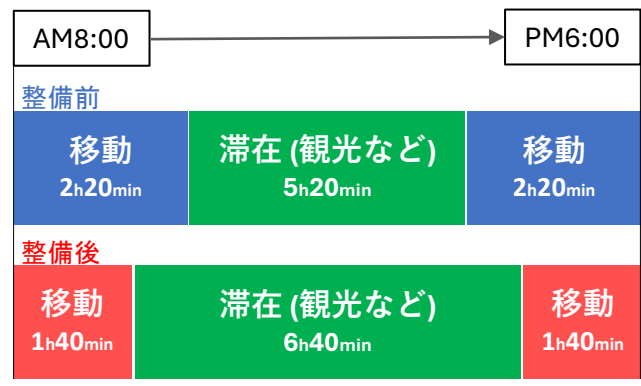
※松本IC, 糸魚川ICから大町市役所(最寄IC)までの時間で算出



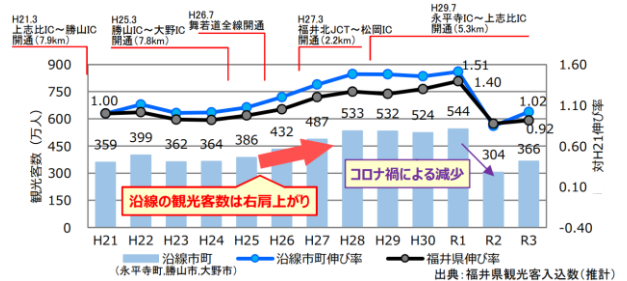
観光滞在時間の変化

[糸魚川市～松本市の移動・滞在の例]

滞在時間1時間20分増加!



(参考)中部縦貫道整備による観光客増加



中部縦貫道開通により
観光客数は1.5倍(H21→R1)



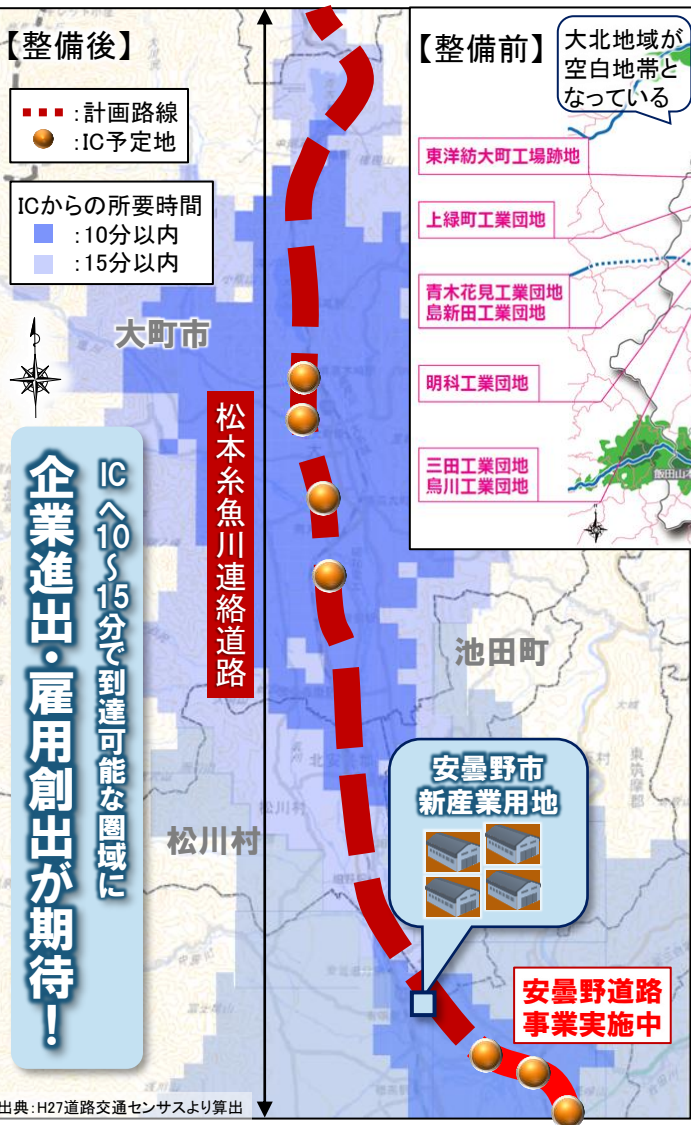
松本糸魚川連絡道路の整備により

新たな企業が進出し、 働くところが増加します

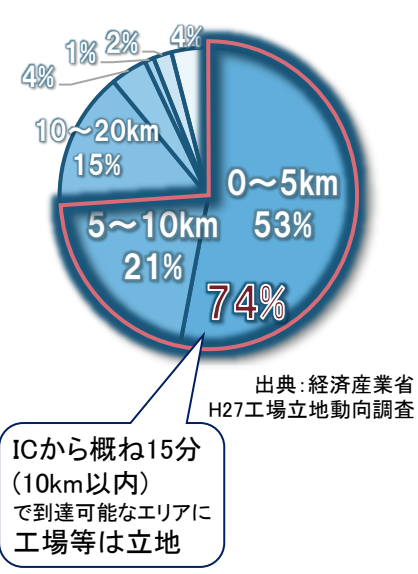
交通アクセスの向上により新たな企業が進出し、地域の雇用を確保

- 工場の74%は、ICから15分以内に立地しています。
- ICが整備され、IC周辺に新たな企業が進出してくることが期待されます。

■松本糸魚川連絡道路ICへの到達圏域



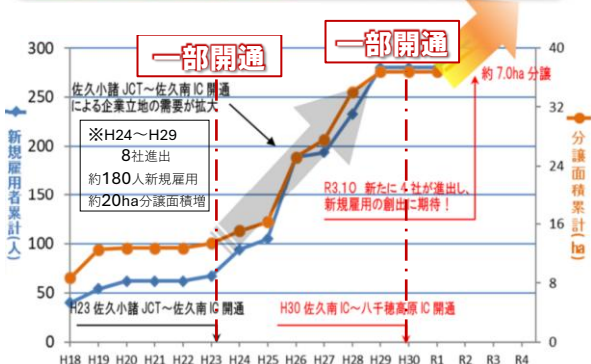
■ICと工場立地の位置



■安曇野市では新産業用地の開発に着手



(参考) 中部横断道整備による企業進出 工業団地分譲と新規雇用の推移



■松糸を期待する声

製造の立場からすると、高速交通網の拡大は、輸送効率化につながり、歓迎すべきこと!

北アルプス地域を拠点とする製造会社 (企業ヒアリングより)

松糸は、地域の雇用の促進と安定、持続可能なまちづくりに欠かせない!

北アルプス地域を拠点とする製造会社 (企業ヒアリングより)



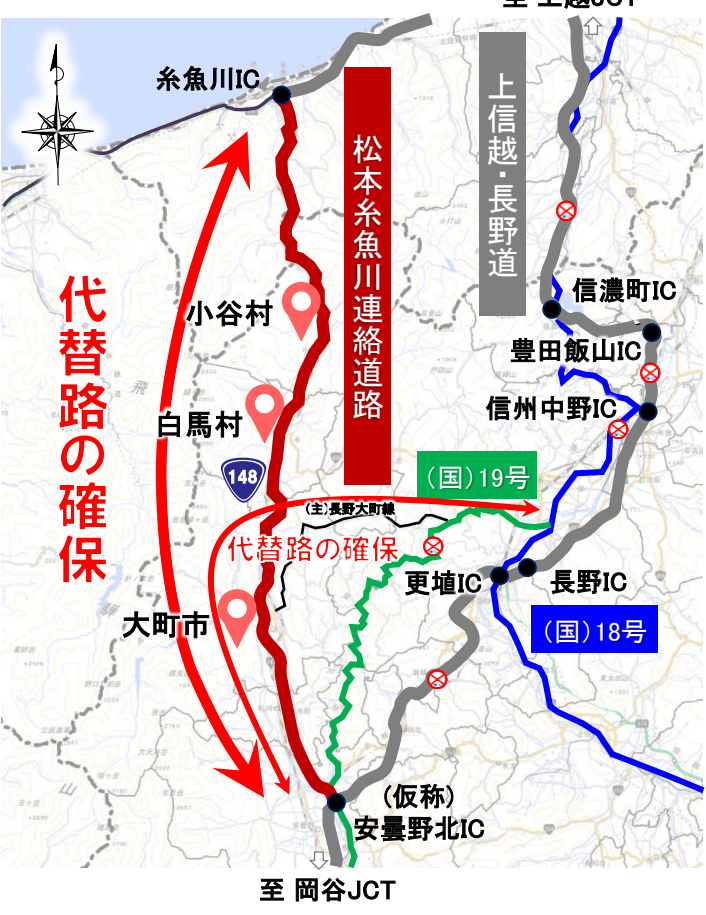
防災

災害に強い道路ネットワークが形成され、道が途絶えません

松本糸魚川連絡道路経由のルートが機能することにより、代替性・強靭性を確保

- 高速道路や国道18号,19号を含め、北陸方面のルートが増えます。
- 災害時でも、北陸方面との移動が確実にあります。

■代替路の確保



■近年の高速道路・国道の通行止め

- (災害)R3.3.21 国道19号(長野市水内)
- (災害)R3.7.7 国道19号(長野市小松原)
- (大雪)R5.1.24 上信越道(長野IC～上越JCT)
国道18号(長野市～上越市)
- (大雪)R5.1.28 上信越道(信濃町IC～上越JCT)
- (地震)R6.1.3 上信越道(信濃町IC～上越JCT)
- (大雪)R6.2.6 長野道(岡谷JCT～更埴IC)
- (大雨)R6.8.25 上信越道
(信州中野IC～豊田飯山IC)



国道19号通行止め長野市小松原 (R3災害)
出典: 信濃毎日新聞

■強靭性の確保

規格の高い道路の整備により強靭性が確保され、大雪でスタックしていた箇所等が減少【国道148号の通行止めの事例】



国道148号 白馬村北城 (H26土砂崩れ)



国道148号 小谷村塩水 (H26大雪)



国道148号 白馬村北城～小谷村外沢 (R5大雪)